

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

住友スリーエム株式会社  
 所在地 本社 東京都世田谷区玉川台2-33-1  
 担当部門 オート・アフター・マーケット 製品事業部技術部  
 電話番号 042-779-2185

MSDS No : 09-2672-5 発行日 : 2001年12月06日  
 版 : 3.00 前発行日 : 2000年04月12日

製品名

名称  
 ダイナマイト カット PN5936

3Mストックナンバー  
 JC-3200-2251-3 60-9800-3592-1 60-9800-3697-8 LB-K000-0505-1

2 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量

成分	CAS No	含有量 (%)
水	7732-18-5	20.0 - 40.0
石油系溶剤	8052-41-3	20.0 - 40.0
酸化アルミニウム	1344-28-1	20.0 - 40.0
ポリオキシエチレンモノステアリン酸ソルビタンエステル	9005-67-8	3.0 - 10.0
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	1.0 - 5.0
1,3,5-トリメチルベンゼン (プソイドキュメン)	95-63-6	1.5
キシレン	1330-20-7	< 0.5
酢酸n-ブチル	123-86-4	< 0.5

P R T R 法指定化学物質の有無: 第一種指定化学物質

成分に関する特記事項:

本品の成分はT S C Aに適合しています。  
 本品に含まれるすべての成分は EINECS に適合します。

3 危険有害性の要約

最重要危険有害性:  
 危険有害性は低い。

有害性：

目、皮膚、気道を刺激することがある。  
中枢神経に影響を与え、頭痛、めまい等を起こすことがある。

物理的及び化学的危険性：

可燃性がある。熱、火花及び火炎で着火することがある。

分類の名称（分類基準は日本方式）：分類基準に該当しない。

#### 4 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気のところへ移動させる。呼吸が停止した場合は人工呼吸を行う。  
呼吸が困難な場合は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

多量の水で皮膚を洗い流す。刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合：

多量の水で直ちに目をよく洗う。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

吐かせてはいけない。コップ2杯分の水を与える。医師の診断を受ける。

#### 5 火災時の措置

消火剤：

二酸化炭素 粉末消火薬剤 泡消火剤

消火方法：

ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用すること。

火災時の措置に関する特記事項：

なし

#### 6 漏出時の措置

個人防護：

危険有害性情報、健康障害、呼吸保護具、換気、個人保護具については、本データシートの他項を参照。

除去方法：

周囲を換気する。すべての着火源を断つ。漏洩を止める。危険地域から人を避難させる。  
吸収材で覆う。ライトウォーター又はその他のA F F F泡消火剤で漏洩箇所を放射する。  
(A F F F泡消火薬剤の使用については当社に問い合わせして下さい。)  
スパークしない道具を使って回収する。残さを清掃する。許可された金属容器に入れる。  
容器を密封する。

#### 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

使用しないときは、容器を密閉しておく。

摂取防止：

本品を使用中は、飲食又は喫煙を禁ずる。本品が接触した箇所は、石けんと水で十分に洗うこと。  
子供の手の届かない場所に保管する。

保管：

使用しないときは、容器を密閉しておく。

換気：

換気状態のよい場所に容器を置く。

爆発防止：

熱、火花、裸火、その他発火の危険のあるものから遠ざける。

## 8 暴露防止及び保護措置

### 設備対策：

換気の良い場所で使用する。蒸発物を暴露限界以下に保つため十分な換気を行う。  
換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。

### 管理濃度：

水 (7732-18-5)

数値：設定されていない

石油系溶剤 (8052-41-3)

数値：設定されていない

酸化アルミニウム (1344-28-1)

数値：設定されていない

ポリオキシエチレンモノステアリン酸ソルビタンエステル (9005-67-8)

数値：設定されていない

ホワイトミネラルオイル (石油) (8042-47-5)

数値：設定されていない

1, 3, 5-トリメチルベンゼン (プソイドキュメン) (95-63-6)

数値：設定されていない

キシレン (1330-20-7)

数値：100 ppm

酢酸 n-ブチル (123-86-4)

数値：150 ppm

### 許容濃度：

水 (7732-18-5)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH TLV：設定されていない

石油系溶剤 (8052-41-3)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH TLV：100 ppm 525 mg/m<sup>3</sup> TWA 1987

酸化アルミニウム (1344-28-1)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：吸入性粉塵 0.5 mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 2 mg/m<sup>3</sup>

ACGIH TLV：10 mg/m<sup>3</sup> TWA Al として 1986

ポリオキシエチレンモノステアリン酸ソルビタンエステル (9005-67-8)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH TLV：設定されていない

ホワイトミネラルオイル (石油) (8042-47-5)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH TLV：設定されていない

1, 3, 5-トリメチルベンゼン (プソイドキュメン) (95-63-6)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH TLV：設定されていない

キシレン (1330-20-7)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：100 ppm, 430 mg/m<sup>3</sup> 1978

ACGIH TLV：100 ppm 434 mg/m<sup>3</sup> TWA 1998 150 ppm 651 mg/m<sup>3</sup> STEL 1990

酢酸 n-ブチル (123-86-4)

日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：100 ppm, 475 mg/m<sup>3</sup> 1994

ACGIH TLV：150 ppm 713 mg/m<sup>3</sup> TWA 1990, 200 ppm 950 mg/m<sup>3</sup> STEL 1990

### 保護具，個人防護：

呼吸保護具：

蒸気の吸入をさける。長時間の粉塵の吸入を避ける。  
汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済みの呼吸器を選択すること。  
プレフィルター付き防毒マスク（有機ガス用）  
プレフィルター付き全面防毒マスク（有機ガス用）

保護眼鏡：

目への接触を避ける。  
通気性ゴーグルを着用する。サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。

保護手袋：

本品を扱う時は適切な手袋を着用する。  
次記の材料で作られた手袋を使用すること。 フッ素ゴム

保護衣：

長時間又は、反復の皮膚接触はさける。

9 物理的及び化学的性質

形状、色、臭い：	ペースト状 クリーム色、ケロシン臭
pH：	7.5 - 8.5
沸点／範囲：	未測定・不明
融点／範囲：	未測定・不明
引火点：	68.3 ℃
発火点：	未測定・不明
爆発範囲一下限(%)：	未測定・不明
爆発範囲一上限(%)：	未測定・不明
蒸気圧：	< 1 (空気 = 1)
蒸気密度：	> 1 (空気 = 1)
比重：	約 1.1 (水 = 1)
水溶性：	完全
蒸発速度：	未測定・不明
粘度：	40000 - 60000 cps

10 安定性及び反応性

安定性・反応性：	安定。危険な重合は起こらない。
避けるべき物質：	強酸化剤

有害な分解物： 一酸化炭素、二酸化炭素 炭化水素

11 有害性情報

目に入った場合：  
軽度の目の刺激：症状は発赤、腫脹、痛み、催涙を含むことがある。

皮膚に付着した場合：  
軽度の皮膚刺激（長時間又は反復接触後）：症状は発赤、腫脹、かゆみを含むことがある。

吸入した場合：  
上気道が刺激される可能性がある（症状は鼻と喉の痛み、咳、くしゃみを含むことがある）  
許容濃度以上で長時間又は反復暴露した場合：

頭痛、目眩、眠気、共調不能、反応時間遅延、言語障害、目眩感、意識喪失を含む中枢神経系への抑制作用を起こす。

飲み込んだ場合：  
摂取した場合：

胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は痛み、嘔吐、腹部圧痛、はきけ、嘔吐物の混血、便の混血を含むことがある）

頭痛、目眩、眠気、筋肉虚弱、共調不能、反応時間遅延、疲労、かすみ目、言語障害、目眩感、ふるえ、けいれんを含む中枢神経系への抑制作用を起こす。

## 1.2 環境影響情報

その他環境影響情報：  
未評価

規制は、地域により異なることがあるので、事前に適用法令の調査を行こなうか、又は役所に確認する。

## 1.3 廃棄上の注意

廃棄方法：  
有害物質用焼却設備で焼却する。

廃棄に関する特記事項：  
関係法令に基づき自社で産業廃棄物として適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。

## 1.4 輸送上の注意

国連番号：該当しない

国連分類（IMO）：該当しない

国連分類（ICAO）：該当しない

注意事項：  
取り扱い及び保管上の注意の項に記載した一般的な注意による。

## 1.5 適用法令

日本国内法規制（主な適用法令）：  
消防法：指定可燃物（可燃性液体類）  
P R T R法 第1種指定化学物質  
労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

## 1.6 その他の情報

特記事項：危険、有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

改訂理由：  
組成、成分情報、危険有害性の要約、適用法令、様式を変更

この製品安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。  
当社は、製品安全データシートの記載内容について、ある特定目的への適合性又は、商取引への使用等について一切の保証をするものではありません。  
当社の製品が、ユーザー各位の特定の目的及び使用方法に適合しているか否かのは、ユーザーで判断して下さい。  
ユーザー各位の使用条件に基づいた適正な安全管理に役立てて頂くため、当社の製品を使用する場合に影響があると考えられる種々の要因を提供したものです。